

②修了要件及び履修方法等

[修了要件]

本学大学院に2年以上在学し、所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、研究の成果の審査及び試験に合格すること。なお、各領域の研究の成果の審査及び試験は以下の通りとする。

- (ア) 声楽、鍵盤、器楽の領域を履修する者は、修士演奏の審査に合格した後、演奏曲についての口述による試験に合格すること。
- (イ) 作曲の領域を履修する者は、修士作品の審査に合格した後、発表した作品についての口述による試験に合格すること。
- (ウ) 音楽学の領域を履修する者は、修士論文の審査に合格した後、修士論文に関係のある分野についての口述または筆記試験に合格すること。

[履修方法]

- (1) 必修科目として、『共通科目』の「西洋芸術音楽総合演習Ⅰ」「西洋芸術音楽総合演習Ⅱ」、及び『専門研究科目』より、声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する学生は、自らが履修する領域の「専門実技Ⅰ」「専門実技Ⅱ」を、また音楽学領域を履修する学生は「音楽学研究演習Ⅰ」「音楽学研究演習Ⅱ」(カリキュラム表記載上は選択必修科目)の計10単位を履修する。
- (2) 声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は、演奏又は発表する作品についての研究報告を取り纏めるため、選択必修科目として、『専門研究科目』の「作品研究報告書制作」の4単位を履修する。
- (3) その他、各学生のキャリアプラン等を考慮して、『専門科目』(「専門特論科目」群、「専門演習科目」群)から、声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は16単位以上、音楽学領域を研究する者は20単位以上を履修する。

③履修モデル

(1)演奏家(声楽領域を履修する学生の履修例)

30単位履修

		1年次	2年次
共通科目		(前期)西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	
		(後期)西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	
専門科目	専門特論科目	(前期)現代音楽特論	(前期)楽書講読A
		(後期)スコア・リーディング	(後期)楽書講読B
	専門演習科目	(通年)オペラ特別演習Ⅰ	(通年)オペラ特別演習Ⅱ
		(通年)演奏理論特別演習Ⅰ	(通年)演奏理論特別演習Ⅱ
専門研究科目		(通年)声楽専門実技Ⅰ	(通年)声楽専門実技Ⅱ
			(通年)作品研究報告書制作
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果としての「修士演奏」を披露する。	